

## 第1回「健康長寿のまち・京都市民会議」総会 摘録

### 1 開催日時

平成28年5月9日（月） 午後3時00時 ～ 午後4時15分

### 2 開催場所

からすま京都ホテル2階「双舞の間」

### 3 議事内容

- (1) 「健康長寿のまち・京都市民会議」規約の採択  
事務局から、資料2及び3の規約（案）について説明。主な規約内容を説明し、原案どおり可決。
- (2) 「健康長寿のまち・京都市民会議設立趣意書」の採択  
事務局から、資料4の趣意書（案）について説明。原案どおり可決。

質 問（つながるKYOTOプロジェクト）：

「機運の醸成」とは具体的に何を指すのか。

回 答（事務局）：

市民の主体的な健康づくりを京都全体で盛り上げていく、ムーブメントを起こしていくということを指している。市民の健康づくりに対する意識にもばらつきがあり、そのような市民、特に健康づくりに対して無関心な市民に対し、「自分も取り組んでみようか」となるような雰囲気をつくさんの市民団体とともに京都市で作り上げていく、という趣旨である。

#### (3) 役員選出

事務局から、規約に沿って役員を選任方法について説明。

理事団体には、これまでの経過を踏まえ、世話人会（資料14）の構成団体と事務局を務める京都市とする事務局案を、一同了承。

その後、理事団体による、臨時理事会が開催され、別紙、役員名簿のとおり、理事11名が選任、会長には（一社）京都府医師会の森 洋一会長が推薦された。

これを諮ったところ、承認され、森会長がその就任を承諾した。

副会長には、就任した森会長より、京都市民健康づくり推進会議の議長である、京都大学大学院医学研究科の中山健夫教授が指名され、承認された。

また、顧問には、健康づくりに関して非常に重要な研究をしておられる、京都府立医科大学大学院医学研究科 栗山長門准教授と、京都学園大学健康医療学部健康

スポーツ学科 木村みさか教授の両名が事務局より提案され、承認された。

質 問（京都市健康づくりサポーター）：

世話人会はライフステージ等のカテゴリー別に分かれて選出してもらったわけだが、当団体はどのような位置づけとなっているのか。取組を吸い上げてもらえるような仕組みづくりを期待したい。

回 答（事務局）：

今後、設置を予定している専門部会において、取組を反映できるよう取り組んでまいりたい。

(4) 「健康長寿のまち・京都推進プロジェクト」の目標（キャッチコピー）  
及びロゴマークの選定

事務局から、資料5、6の目標（キャッチコピー）及びロゴマークの選定に係るこれまで経過と世話人会でまとめた最優秀作品と優秀作品（案）について説明。一同了承。

(5) 市民会議における当面の取組

(6) キャッチコピー及びロゴマークの活用

事務局から、資料7及び資料8について併せて説明。

資料7については、「健康長寿のまち・京都」の実現にむけた理念を各会員団体内で共有していただくことや、市民会議正式発足イベントの開催（6月4日）等について説明。

また、資料8では本日決定したキャッチコピーとロゴマークの積極的な活用をお願いした。一同了承。

## 4 報 告

(1) 京都市健康ポイント事業

(2) 京都市健康大使

事務局より、京都市の事業について2点報告。

資料9の「健康ポイント事業」の概要と資料10の京都市の健康づくり施策に関する「イメージキャラクター」として、京都市健康大使に5名の就任を予定していることを報告。

以上。